分野		ため池の補強等				事業 番号	3	事業	業名 県営ため池等整備(水路等の補強)							)		
市町村名		長	野市	<b>岁</b>	安茂里3期							事業年度 (完了年度は見込み)			年度~ H29 年度			
事				事業内容	7				古光典(イロ)		財源内?			<b></b> 排源内	訳(千円)			
業	区分			ř				事業費(千円) -		国	国庫 その他		県債	一般財源				
概	全体	用水路工	L=805m					615,000		338,	250	250 123,000		138,450	15,300			
要	H25年度	用水路工L=160m							27,500		15,1	15,125 5,500		6,275	600			
	区分	評価項目·指標等							評 価							ランク	評点	
	必要性	保全対象	人家戸数			□ 10戸以上			■ 1~9戸				□ 0戸			Α	10	
	( 20 )	20 ) 保全対象公共施設 小 計			■ 2箇				□ 1箇所 □ 依存度 中				なし				5	
																	15	
	水利施設と		としての依存度	■ 依着	□ 依存度 小									7				
重要性		かんがい(排水)受益			<b>■</b> 100	■ 100ha以上				□ <sup>40</sup> ha以上100ha未 満			□ 40ha未満			Α	5	
	( 15 )	防災計画上の位置づけ			□ 位置	- 10-				置付けな	:L						0	
			小 計													12		
		防災効果(B/C)			<b>■</b> 1.2.	以上			1.1.	以上1.2	未満		1.0以」	Ł1.15	卡満		4	
箇	効率性	早期発現	早期発現度(効果発現まで)			□ 3年未満			□ 3年以上5年未満			■ 5年以上				В	1	
所		ローカルスタンダ・ート・(L.S.)計画及び コスト縮減及び代替案検討等			口 (様:		項目以	上	■ (様式4) 2項目該当			当口	(様式4	.) 1項	目該当		2	
			小言	<u></u>													7	
評		施設への影響			■影響	響が明	白 白		影響	響が推定	される	5 <b></b>	影響の	兆候	がある		10	
	緊急性	周辺へ与える影響			■影響	■ 影響が明白			□ 影響が推定される			□影響の兆候がある			がある		10	
価	( 35 )	過去の被 (河川管理	災履歴 単者からの改善要求等)		□ <sup>5年]</sup>	□ 5年以内に複数回 ( <del>改善要求書がある)</del>			□ 5年以内に1回 ( <del>改善勧告がある)</del>			左記以外に被災有 ( <del>改善勧告なし)</del>			被災有 <del>않し)</del>	Α	4	
					口 応急	□ 応急対策実施中				■ 過去に実施済み			□ 応急対策未実施				3	
		小計														27		
	計画	地域からの要望			■ 地垣な沼	地域住民の内発的 口 市町村からの要望な活動が強い				望	□ 特に要望ない				6			
	熟度	事業情報の共有			□ 関係		外に広	<	関係 知	関係者を中心に周 中に周知してない				てない	В	3		
	( 20 )	住民参加		住民が計画策定に						4								
		小 計													13			
	費用対効:	果(B/C)	:	2.78				評	価	i の	合	計				В	74	
	事業実施に至る歴 史的経緯・社会的 背景		本地区は昭和15~26年、農業水利改良事業により造られ長野市内1,703haをかんがいする重要な幹線用水路の暗渠部分である。しかし築50年が経過する間にトンネル上には民家が建ち、国道交通量も増えるなど変化している一方、周辺土質の影響でトンネルの断面の変状やクッラクなど構造的に不安定な状態となり、国道19号、市道、近隣民家や下流農地に多大な被害を及ぼす危険性が高くなっている。															
	地域からの 緯	の要望経	平成13年2月、 て農業用水の研									と区から	、長野市	万及び	長野県に	対し変状区間の	)改修を実施し	
業周	事業説明	等の経緯	委員会を開催し	以14年5月29、30日に住民が情報を共有しながら事業実施を図るため、計画段階時の説明会を開催した。平成15年5月29日に計画検討員会を開催し、実行委員会体制を検討した。さらに、安茂里地区・安茂里2期地区の事業進捗説明会や工事現場見学会等を、平成23年度で毎年1回以上、関係者(改良区・受益者等)及び周辺住民に対して実施いている。														
	辺 環境・景観への配												配慮を実施予					
他事業・プロジェクト との関連 ため池等整備事業(農業用河川工作物応急対策)屋口地区は、同時代に安であり、平成8年~15年完了。								安茂里	■の近接地で作られた農業用水路(河川横断サイホン)の改修									
	特記事項											<b>本となって行い、環境の保全</b> に			<b>二努める方針。</b>			
Ш	地域の合意	意形成	■ 全員賛成		□概₹	□ 概ね賛成			□ 過半数賛成			□ 動向不明						
	部意見	施設の老朽化に伴い破損が著しく、 被害を及ぼす恐れがあるため、早急							等に 行政 改革課 選 意見			必要性	必要性、重要性、緊急性が			認められる。		